

紙カルテ電子ファイリング事例(一括自動登録)

◆導入前の課題 膨大な過去カルテを保管



- ◆ 膨大な過去の紙カルテを外部倉庫に保管している。
- ◆ 保管コストが年々増加。
- ◆ 医師からの要請で過去カルテを取り寄せるのに時間を要していた。

病院の規模

患者数:293,000人
診療科目数:30
病床数:611床
電子カルテ:HOPE

◆対策 紙カルテを電子化して患者IDや入院カルテ番号等で検索可能なシステムを構築

- ◆ 紙カルテに入院カルテ番号のシールを貼り、スキャンニング作業はパート社員を採用
- ◆ スキャンニング時にバーコードを読み取り、pdfファイル名に入院カルテ番号.pdfを自動生成
- ◆ 電子カルテの患者マスターと照合し、スキャンしたカルテを診療科ごとのフォルダに自動格納
- ◆ カルテ検索システムで、患者ID,氏名,カルテ番号,生年月日,診療開始日等でカルテを検索

過去の紙カルテをスキャンして電子化



カルテの先頭ページにカルテ番号のバーコードが貼られておりスキャン時にセパレータとして利用する。バーコードを認識しカルテ番号.pdfを自動生成

HOPE



カルテ番号や患者ID,患者氏名等でカルテを検索

The screenshots show the 'カルテ検索' (Record Search) interface. The top window displays search criteria and results for patient ID 829694. The middle window shows detailed patient information for '豊里力也' (Toyosato Rikyo), including birth date (2007/12/07) and admission date (2007/12/07). The bottom window shows a detailed medical record for the same patient, including a diagnosis of 'クヌギ44' (Kunugi 44) and treatment details.

◆導入効果

- ◆ スキャンするだけで一括自動登録
- ◆ 外部倉庫・物流コストの大幅削減